

令和7年度
主要事業

「攻め」と「守り」の政策で課題に立ち向かいます

01

創造性あふれる
産業が息づくまち

グリーンツーリズム推進事業費

153万5千円

農家民宿・農家レストランの支援およびアウトドアを含む各種体験の受け入れ基盤を整備しつつ、観光施設などの連携を強化し、滞在時間の拡大を目指す。



青少年国際交流事業費

408万2千円

受け入れ態勢の整備と国際的視野を持った人材育成を目的として国際団体の受け入れや青少年の訪台交流事業などを実施する。

教育旅行支援事業費

125万7千円

県を代表する教育旅行の受け入れ地域として宮城県、北海道方面、岩手県に加え、首都圏ヘタージェット地域を広げ誘致活動を実施する。

リゾート推進事業費

100万円

アーティストの方々により豊富な自然、景観、文化を体験しながら創作活動をしてもらうことで質の高い情報発信や親和性の高い関係人口の創出を目指す。

有害鳥獣駆除事業費

1066万2千円

野生動物による農産物・林産物被害および人的被害防止のため、有害鳥獣捕獲を実施するとともに、侵入防止柵設置費用の一部を補助する。急増するイノシシ・ニホンジカへの対応策を講ずるとともに、新規猟友会員の増加を図る。

企業誘致対策事業費

283万円

企業誘致活動費や田沢湖黒沢工業団地などの管理、サテライトオフィスを含む企業誘致に係る視察ツアーの実施などを行う。

02

人が輝き安心して
暮らせるまち

よぶのる角館運行事業費

3126万5千円

JR東日本からの技術サポートを受けながら、交通Maas「よぶのる角館」の実証運行を継続する。



小規模分散型給水設備導入可能性調査事業負担金

184万円

民間企業が仙北市内で実施する水循環システムの実証実験に係る経費の一部を負担する。

防災行政無線維持管理費

1611万9千円

令和6年度に導入した新システム「アットインフォカナル」の本格運用を開始し、LINEなど最大限活用した、より効率的かつ効果的な防災情報の発信を実施する。

03

人優しさにあふれ
健やかに暮らせるまち

仙北ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座開設事業費

900万円

秋田大学医学部と仙北市が共同で寄附講座を設置する。仙北市医療DX事業の共同研究のほか、市立角館総合病院を研究フィールドとして秋

演などを、小・中学生も対象に実施することで、児童生徒の「仙北市で働き生きていくイメージ」を養い、将来的な若者の地元企業就職率の向上を目指す。



校内教育支援センター運営事業費

346万6千円

「誰をも取り残さない教育」の理念実現に向けて、あらゆる生徒の支援を行う「校内教育支援センター」を開設する。

給食材料費

9114万9千円

食材高騰に対応しながら安心安全な給食提供を通じて、児童生徒の食育促進や地元食材使用による地産地消の推進を図る。物価高騰分を補助し、保護者の負担を軽減する。



医療Maas管理運営事業費

1273万1千円

医療機関への受診が容易な市民と、困難な市民との医療格差を解消するため、医療Maas車両による遠隔診療体制を整備・運営する。

病院事業会計補助金

11億円

両病院の運営を支援するため、一般会計から補助金を交付する。

MRI検診補助金

50万円

田大学から指導医を派遣し、総合診療医の育成や診療などを行うことにより、地域医療人材の確保を推進する。

就学前教育・保育施設主食費無償化事業費

191万4千円

育児に係る保護者の負担軽減のため、3歳以上児への主食（米飯）の無償提供を行う。

すこやか子育て保育料助成事業費

3339万3千円

私立の認定こども園、認可保育所、幼稚園、認可外保育所、地域型保育事業の利用者に対して保育料・副食費を助成する。



社会福祉法人はなさき仙北補助金

3億9823万2千円

認定こども園の管理運営を行う社会福祉法人の円滑な運営に資するため必要な補助を行う。

就学前教育・保育施設整備等補助金

5849万4千円

認定こども園運営法人に対して保

04

自然と調和した潤いある
暮らしを実感するまち

塵芥処理費

8404万2千円

家庭ごみの収集運搬業務や廃止済最終処分場の水質検査などを実施し、市民の快適な生活環境を維持する。

05

個性豊かな心を育むまち

田沢湖マラソン大会負担金

2000万円

市民の健康増進、誘客による地域活性化を図るため開催する。5年に1度のコース認定申請を行うほか、大会の質的向上を期して医療救護体制などを拡充する。

仙北市ヤマメ・サクラマスプロジェクト事業費

520万1千円

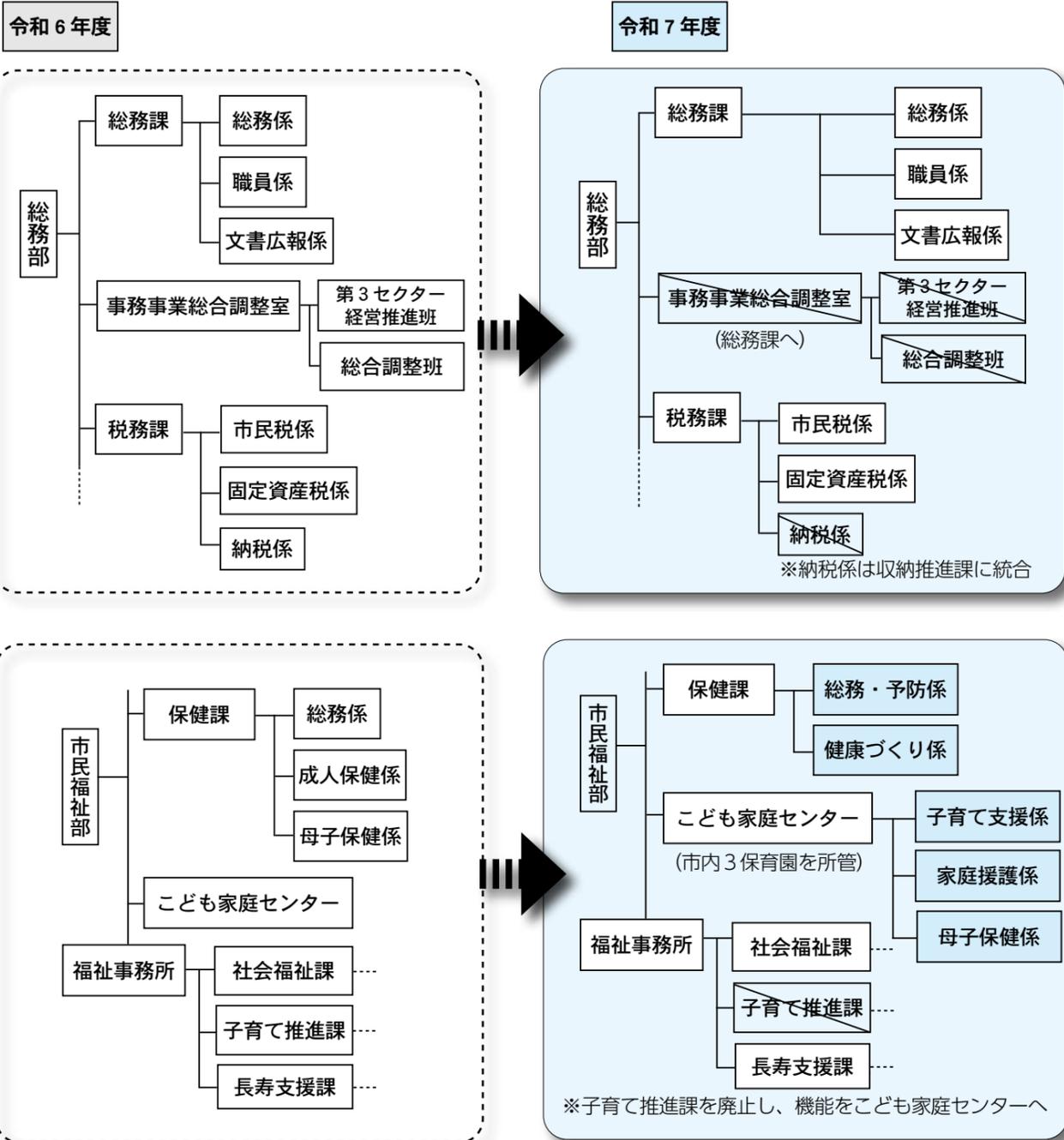
市内企業の職場体験・企業説明会、仙北市で活躍する方から選定する「キャリアマイスター」による講

組織再編について

時代の変化に対応して施策を推進するため、令和7年4月に組織のスリム化を主とした組織再編を行います。総務部では、事務事業総合調整室を廃止し、総務課に機能を移管します。また、収納推進課には、税務課から納税系の機能を移管し、課税部門と納税部門を分けた組織体制とします。

市民福祉部では、保健課の母子保健係と子育て推進課の機能をこども家庭センターに集約し、児童福祉を担当する窓口を一本化します。また、それに伴い、子育て推進課は廃止します。具体的な組織再編は下の組織図のとおりです（再編部分のみ抜粋して掲載しています）。

時代と目的に合わせて
スリム化！



06 誇りある暮らしをつなぐまち

▼移住体験推進事業費

724万9千円

移住希望者向けに新たに移住体験事業を展開し、仙北市に住み生じていく具体的なイメージの醸成を通じて、より多くの人がより幸福な移住を実現できるようにする。移住体験ツアーの企画・実施や、移住体験住宅の整備・運営などに係る経費を計上する。

▼角館高校地域みらい留学推進事業費

234万9千円

秋田県立角館高校と仙北市が共同で県外学生の入学受入（地域みらい留学）を推進し、関係人口の創出や若者の将来的な定住人口増加につなげる。令和8年度からの受入を目指して、令和7年度はPR活動などによる生徒募集を実施する。



07 新たに創るゆめのまち

▼インターナショナルスクール誘致事業費

1211万2千円

インターナショナルスクールの誘致実現による、交流人口の増加や雇用機会の創出などを通じた地域活性化を目指す。令和7年9月の開校に向けバックアップを強力に推進する。



▼高度外国人材等受入促進事業費

986万7千円

ITエンジニアなどの高度外国人材の市内企業への就業および起業などによる地域活性化を目指す。外国人材および企業双方への支援体制強化のため、グローバル雇用・創業ワンストップセンターを運営する。

08 みんなが主役協働のまち

▼市制20周年記念式典開催事業費

200万円

令和7年9月20日に市制20周年を迎えるにあたり、記念式典および記念講演会を開催する。また市政の発展に貢献された方々の表彰を行う。

▼ふるさと納税ふるさと便仙北市魅力発信事業費

9億3627万5千円

ふるさと納税事業の推進により、市の財源を確保するとともに、市内産業の活性化を図る。また、仙北市の魅力発信事業として情報発信を強化し、特産品を中心とした市の魅力を全国に向けて発信する。

▼公共施設等マネジメント事業費

1億496万6千円

公共施設の統廃合などを計画的に実施することにより、長期的視点からの財政負担軽減および平準化を目指す。

▼庁舎整備事業費

16億9951万3千円

角館上野庁舎の整備を行い、行政

詳しい事業の内容は・・・

一般会計、特別会計および企業会計について、当初予算の概要をまとめた資料を仙北市ホームページ (<https://www.city.semboku.akita.jp/government/information/yosangaiyo.html>) に掲載しています。右記二次元コードからご覧いただけます。



※上野庁舎として整備される旧市立角館総合病院管理棟

運営効率性の大幅な向上を図る。